

安心と安全を届ける

亀戸小松川立体改良舗装 工で佐藤渡辺の鎌田社長

佐藤渡辺の鎌田修治社長は11日、「R6国道14号亀戸小松川立体松島地区改良舗装工事」（発注者＝国土交通省関東地方整備局首都国道事務所）の現場で安全パトロールを実施した。写真。鎌田社長のほか、小澤栄師営業本部部長、



堂尻伸二安全環境部長、関東支店の日高久仁支店長、甲賀隆文工事部長、小林修安全環境部長、東京営業所の岩谷隆央所長が参加した。鎌田社長は「交通量が多く、厳しい条件の下、安全管理に対する意識を高く持ち、職員・関係者一丸となって取り組んでいることを確認した。当社の他の現場でもすぐにできる事例があるので水平展開してもらいたい。また、第三者の方々にきれいな現場、安心と安全を届けるように心掛けよう。維持管理に努め、無事故・無災害で工事を完了してほしい」と講評した。同事業は、国道14号の江東区亀戸9丁目から江戸川区大杉1丁目までの交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を目的に、延長約2・5kmの道路を6車線に拡幅するもの。そのうち同工事は江戸川区松島1丁目から江戸川区中央1丁目の延長500mの改良舗装工事で、パトロール当日は中分側2車線島規制内での旧橋撤去工の施工状況を確認した。

